

英 語 科

教科の重点目標 自立した学習者の育成のために ～アクティブラーニングを活用した授業の展開を目指す～

	学習指導に関する現状と課題	授業改善のための具体的な取組	補充・発展的な学習指導の計画（具体的な取組の目標値や評価規準等）	今年度の評価（成果と課題）
第三学年	<p>◎考える力を育てる観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に授業に取り組む生徒が多い。 ・学習を通して生じる疑問に対しては、教員への質問や生徒間での話し合いを行い、解決へ向けて考えることができている。 <p>《聞くこと・話すこと》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語で授業を受けることで、教員や他の生徒の英語を聞き取り、理解しようとする姿勢が身に付いている。 ・一方で「話すこと」に関しては、間違いを恐れて、消極的になってしまう。 <p>《読むこと・書くこと》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語を読むことに対しては、大きな声で意欲的に取り組む生徒が多い。また、発音を意識して英語らしく読もうとしている。 ・既習の文法事項を生かし、自分の意見や考えを表現することに苦手意識を持っている生徒が多い。 <p>◎生徒による授業評価からの観点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「AETと英語で会話することが楽しい」「もっと会話をしてみたい」という生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループで取り組む活動を継続して行う。 <p>・帯活動の読みトレでは、内容に沿った質問に答える活動を行う。その活動では、単語ではなく文で答えるように指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が発した英語が正しくなくとも、英語を話そうとする姿勢を認め、間違いを恐れない姿勢を育てる。 <p>・音読は授業で重点的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で、問題演習や自己表現を行う時間を増やし、家庭学習でも取り組むことができるようにする。 <p>・AETや他の生徒と会話をする機会を設けていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数授業で個々が発言できる機会を増やす。 ・英語の歌を扱うことにより、興味・関心を引き出す <p>・学期に1回以上スピーチなどの発表活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチでは、自己評価や他己評価を通して自分に不足している部分を理解し、次回の発表活動をよりよいものにできるようにする。 <p>・学期に1回以上音読テストを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音読テストでは、評価項目を明確にすることで自分の発音について理解し、改善できるようにする。 ・ライティングノートの取り組みを通して、書くことに対する抵抗感を抑える。 	

